

研究課題：ステロイドパルス療法後の C3 腎症における長期の臨床病理学的検討

## 1. 研究の目的

C3 腎症は、膜性増殖性糸球体腎炎 (MPGN) という腎炎の病態解明の過程で確立された新しい概念です。本邦では MPGN に対してステロイド大量療法 (MPT) を中心とした免疫抑制療法がおこなわれてきましたが、C3 腎症に対する MPT を行った患者さんの長期的な腎機能の予後はあまりわかっていません。本研究では C3 腎症に対する MPT 後の長期予後を明らかにすることを目的とします。

## 2. 研究の方法

2005 年以降、C3 腎症と診断され、MPT をおこなった患者さんについて、MPT 後の血清 C3 値、血尿・蛋白尿の経過、腎機能の推移、治療前後の腎組織の変化などについて診療録をもとに検討します。

## 3. 研究期間

2005 年 11 月 1 日～2019 年 12 月 31 日までに C3 腎症と診断され、ステロイドパルス療法を行った患者さんを対象とします。

## 4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を用います。

## 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

個人情報には匿名化して管理し、研究の終了後すみやかに破棄します。第三者への資料・情報の提供は行いません。研究成果は学会および誌上で発表し、公表しますが、被験者を特定できる情報は使用しません。

## 6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 腎臓科 医長 仲川 真由

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年4月30日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）